

駅の張り紙見て俳優養成所

大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(52) 草津市

はい上がる人

わたしの歩跡

▲スキーやカヌーに打ち込むスポーツ少年には、土日に別の顔があった。私立比叡山高校(大津市)1年の冬のことだったと記憶している▼

硬式野球部をやめてどうしようもない頃、京都駅をほっと歩いていたら、「俳優募集 東映芸能」みたいな張り紙があったんですよ。昔から人前で物まねとかするのは好きでしたけど、学校では自分が生かされていないときですね。映画が好き

きでも、テレビに出たいも、切なかったんですけどね。ようやくわかんまま、履歴書を持って、ジャージ上下でオーディションに行ったんですよ。

受けたら、僕を含む男2人、女10人が通ったんです。同い年から、全然上の人もいました。合格通知をもらって、家に頼んで授業料を入れてもらいましたね。所長が入所式で「これから個性派時代です」って言うたのを覚えてます。2年間、土日

中心に東映京都撮影所(京都市右京区)で勉強するんですね。演技や発声、時代劇の作法、殺陣、茶道……。演技の先生は、テレビドラマ「部長刑事」にも出たことがある、大部屋出身の大木晤郎さんでした。

映画も全盛期でね。撮影している看板を入り口にぶわーっと立ったり。テレビで見かける人も普通に見かけ、驚きましたね。授業の合間に撮影所の中をよく見に行っていました。スポーツやっついて奇麗な短髪だったの、俳優の伊吹吾郎さんに「地毛か」って聞かれて。女優の和由布子さんを見て、めっちゃ奇麗な人やなあって。



大津市民会館での文化祭で「ワンマンショー」を披露し、大うけする。右は教員で生活指導の担当だった田中正義さん

1984年秋、いすれも土平ドンペイさん提供

1984年の国体終了直後に友人の若林節哉さん(左現夫)と比叡山高校で



全校で一番の「芸人」

1年生終わりから2年生初めの頃、映画「里見八犬伝」(1983年公開)の撮影が高校近くの日吉大社であったんです。柵を越えて見に行ったら、真田広之さん、葉師丸ひろ子さんがいて、エキストラの人がいっぱい。別世界や。俺もこの世界に足を突っこむんやとわくわくして。エキストラの人らに「おはようございます」って声を掛けたら「高校生のくせに、なんじやこいつ」って言われました。

▲カヌーで国体出場を果たし、学校では持ち前の芸人精神を発揮した高校3年は、「生き生きした」輝く1年だった▼

秋の文化祭が全校生徒約1000人入って大津市民会館であったんですけど、文化部の出し物だけでは時間が20分余るといふ話になって。「職員会議で『ドンペイに何かやってもらったらええ』ってなった」と先生に言われ、「やるやろ?」。「全校生徒でしょ? やります。人数が多いほど燃えますから」。先生の物まねベスト10をやった

ら、大うけしましたね。1年から3年まで、芸人ドンペイを知らない人がいないくらい有名になりましたね。

ドンペイはあだ名です。硬式野球部時代に、先輩が背中の「土平」を見て「何やそれ、どへい? どへい?」。その中に「ドンペイ」もあって、俳優の山城新伍さんと川谷拓三さん(ともに故人)が「どんどんパー」って宣伝するCMの頃で、「ドンペイ」が定着しました。1年終る頃は「つちひら」と呼ぶ先生はおられなくて、3年のときは校長先生まで「ドンペイ君」って。もしかしたら校長先生は「つちひら」というのをご存じなかったかもしれません。

▲当時の校長は現在、宗派のトップを務める森川宏映第257世天台座主だ▼

【エリア編集委員・大澤重人】

1つづく、水曜掲載

カヌー国体出場 「継続は力なり」

カヌーでの国体出場について「体感のバランス! 運動神経も動体視力もいいなあ。ベースがしっかりしてるから身体をはる演技も」

楽々こなせるんですね「途中下車してランニングなんて脱帽です。まさに継続は力なり」などの感想がドンペイさんのフェイスブックに寄せられました。